

決算をお知らせします

令和6年度の水道事業は、給水人口が減少したものの、給水戸数にわずかながら伸びがみられました。  
また、今年度の事業としては、市街地（北10丁目通等）における老朽化した配水管の改修工事のほか、中標津浄水場における浄化槽の更新工事などを行い、有収率（※）は前年度同率となりましたが、事業収支は赤字となりました。  
水道事業は「地方公営企業」であり、事業に必要な経費は水道料金でまかなわれています。町民のみなさんへ安全・安心な水道水を安定的に供給していくため、引き続き計画的な更新を行い、事業収支のバランスや財源の確保など、効率的な事業運営に努めていきます。

（※）有収率  
「浄水場から出た水の量（配水量）」に対して「料金として収入した水の量（給水量）」の比率。100%に近いほど、作った水が収益に反映されている。（給水量÷配水量×100）

収益的収支の状況（1年間の経営活動に伴い発生する収支）

|         | 主な予算科目   | 決算額       | 対前年度比伸率 |
|---------|----------|-----------|---------|
| 水道事業収益  | 給水収益     | 4億1,754万円 | 0.1%    |
|         | 受託工事収益   | 433万円     | △18.8%  |
|         | その他営業収益  | 1,200万円   | 12.6%   |
|         | 営業外収益    | 2,141万円   | △7.6%   |
|         | 収益合計     | 4億5,528万円 | △0.2%   |
| 水道事業費用  | 人件費      | 5,902万円   | 3.8%    |
|         | 物件費      | 1億2,743万円 | △12.7%  |
|         | 受託工事費    | 433万円     | △18.8%  |
|         | 減価償却費    | 2億5,366万円 | 0.1%    |
|         | 資産減耗費    | 691万円     | △67.6%  |
|         | 支払利息     | 2,285万円   | △0.6%   |
|         | その他営業外費用 | 11万円      | △44.2%  |
|         | 費用合計     | 4億7,431万円 | △6.3%   |
| 収益的収支差引 |          | △1,903万円  |         |

資本的収支の状況（資産取得に伴い発生する収支）

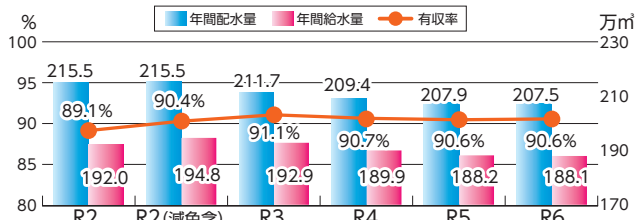
|         | 主な予算科目 | 決算額        | 対前年度比伸率 |
|---------|--------|------------|---------|
| 収入      | 企業債    | 1億7,810万円  | 24.4%   |
|         | 補助金    | 119万円      | 皆増      |
|         | 収入合計   | 1億7,929万円  | 25.2%   |
| 支出      | 建設改良費  | 2億2,148万円  | △37.4%  |
|         | 企業債償還金 | 1億1,926万円  | △1.6%   |
|         | 費用合計   | 3億4,074万円  | △28.2%  |
| 資本的収支差引 |        | △1億6,145万円 |         |

業務量および企業債の年度末残高

| 年度末給水戸数 | 年度末給水人口 | 年度末企業債残高   |
|---------|---------|------------|
| 10,219戸 | 19,093人 | 21億8,109万円 |

配水量・給水量・有収率の推移（㎡）

| 年間配水量     | 年間給水量     | 有収率   |
|-----------|-----------|-------|
| 2,075,072 | 1,880,552 | 90.6% |



令和6年度の簡易水道事業は、給水人口、給水戸数ともに減少となりました。  
また、今年度の事業としては、西竹地区における老朽化した配水管の改修工事のほか、開陽浄水場の修繕工事などを行い、有収率（※）は増加傾向にあるものの、事業収支は赤字となっています。  
簡易水道事業は「地方公営企業」であり、事業に必要な経費は簡易水道使用料でまかなわれています。町民のみなさんへ安全・安心な水道水を安定的に供給していくため、引き続き計画的な更新を行い、事業収支のバランスや財源の確保など、効率的な事業運営に努めていきます。

（※）有収率  
「浄水場から出た水の量（配水量）」に対して「料金として収入した水の量（給水量）」の比率。100%に近いほど、作った水が収益に反映されている。（給水量÷配水量×100）

収益的収支の状況（1年間の経営活動に伴い発生する収支）

|         | 主な予算科目  | 決算額       | 対前年度比伸率 |
|---------|---------|-----------|---------|
| 水道事業収益  | 給水収益    | 2億1,029万円 | 3.6%    |
|         | その他営業収益 | 75万円      | 21.6%   |
|         | 営業外収益   | 2億2,703万円 | △8.9%   |
|         | 特別利益    | 154万円     | 皆増      |
|         | 収益合計    | 4億3,961万円 | △2.9%   |
| 水道事業費用  | 人件費     | 1,317万円   | 2.9%    |
|         | 物件費     | 1億 923万円  | 8.5%    |
|         | 減価償却費   | 3億2,982万円 | 0.6%    |
|         | 資産減耗費   | 306万円     | △91.0%  |
|         | 支払利息    | 1,944万円   | 2.2%    |
|         | 費用合計    | 4億7,472万円 | △4.6%   |
| 収益的収支差引 |         | △3,511万円  |         |

資本的収支の状況（資産取得に伴い発生する収支）

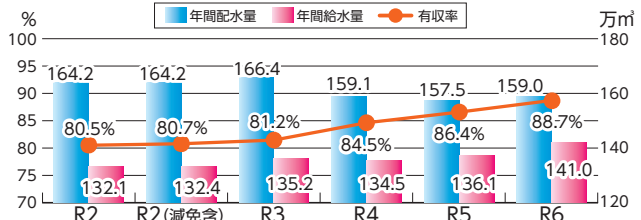
|         | 主な予算科目 | 決算額       | 対前年度比伸率 |
|---------|--------|-----------|---------|
| 収入      | 企業債    | 1億3,440万円 | △30.5%  |
|         | 他会計出資金 | 9,023万円   | 35.4%   |
|         | 収入合計   | 2億2,463万円 | △17.5%  |
| 支出      | 建設改良費  | 1億4,027万円 | △33.0%  |
|         | 企業債償還金 | 1億7,708万円 | 33.8%   |
|         | 費用合計   | 3億1,735万円 | △7.1%   |
| 資本的収支差引 |        | △9,272万円  |         |

業務量および企業債の年度末残高

| 年度末給水戸数 | 年度末給水人口 | 年度末企業債残高   |
|---------|---------|------------|
| 1,091戸  | 2,646人  | 28億2,618万円 |

配水量・給水量・有収率の推移（㎡）

| 年間配水量     | 年間給水量     | 有収率   |
|-----------|-----------|-------|
| 1,590,380 | 1,410,092 | 88.7% |



一般会計からの繰入金の内訳

| 区分          | 決算額     |
|-------------|---------|
| 企業債利子償還に係る分 | 994万円   |
| 企業債元金償還に係る分 | 9,023万円 |
| 繰入金合計       | 1億 17万円 |

令和6年度の下水道事業は、水洗化人口が減少したものの、処理戸数にわずかながら伸びがみられました。

また、今年度の事業としては、下水終末処理場における機械・電気設備の更新工事のほか、下水汚泥発酵乾燥施設の改築・更新工事などを行い、有収率(※)は増加し、事業収支は黒字となりました。一方で、多額の費用がかかっていることから、一時借入金により運営資金の補てんをしています。

下水道事業は「地方公営企業」であり、事業に必要な経費は下水道使用料でまかなわれています。町民のみなさんの快適な日常生活を支える下水道を維持するため、引き続き計画的な更新を行い、事業収支のバランスや財源の確保など、効率的な事業運営に努めていきます。

#### (※) 有収率

「終末処理施設で処理した水の量(処理水量)」に対して「料金として収入した水の量(有収水量)」の比率。

100%に近いほど、処理した水が収益に反映されている。

(有収水量÷処理水量×100)

#### 資本的収支の状況(資産取得に伴い発生する収支)

|    | 主な予算科目   | 決算額        | 対前年度比伸率 |
|----|----------|------------|---------|
| 収入 | 企業債      | 2億40万円     | 29.3%   |
|    | 他会計出資金   | 4,010万円    | △50.4%  |
|    | 国庫補助金    | 1億493万円    | △25.6%  |
|    | 道補助金     | 280万円      | △88.8%  |
|    | 負担金及び分担金 | 186万円      | △54.7%  |
|    | 収入合計     | 3億5,009万円  | △13.7%  |
| 支出 | 建設改良費    | 2億4,838万円  | △25.8%  |
|    | 企業債償還金   | 3億7,039万円  | △4.3%   |
|    | 返還金      | 77万円       | 37.5%   |
|    | 費用合計     | 6億1,954万円  | △14.2%  |
|    | 資本的収支差引  | △2億6,945万円 |         |

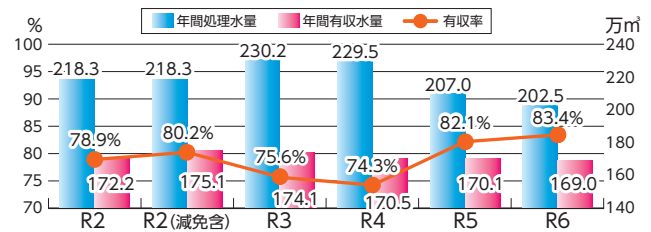
#### 業務量および企業債の年度末残高

| 年度末処理戸数 | 年度末水洗化人口 | 年度末企業債残高 |
|---------|----------|----------|
| 9,668戸  | 17,591人  | 27億388万円 |

#### 処理水量・有収水量・有収率の推移

(m<sup>3</sup>)

| 年間処理水量    | 年間有収水量    | 有収率   |
|-----------|-----------|-------|
| 2,025,274 | 1,689,854 | 83.4% |



#### 収益的収支の状況(1年間の経営活動に伴い発生する収支)

|         | 主な予算科目   | 決算額       | 対前年度比伸率 |
|---------|----------|-----------|---------|
| 下水道事業収益 | 下水道使用料   | 3億1,655万円 | △0.4%   |
|         | その他営業収益  | 2,936万円   | △4.5%   |
|         | 営業外収益    | 4億8,916万円 | △5.2%   |
|         | 特別利益     | 88万円      | 皆増      |
|         | 収益合計     | 8億3,595万円 | △3.3%   |
| 下水道事業費用 | 人件費      | 786万円     | △21.5%  |
|         | 物件費      | 2億6,196万円 | △3.5%   |
|         | 減価償却費    | 5億1,411万円 | 0.6%    |
|         | 資産減耗費    | 59万円      | △97.4%  |
|         | 支払利息     | 2,616万円   | △16.2%  |
|         | その他営業外費用 | 529万円     | △11.9%  |
|         | 特別損失     | -         | 皆減      |
|         | 費用合計     | 8億1,597万円 | △5.3%   |
|         | 収益的収支差引  | 1,998万円   |         |

#### 一般会計からの繰入金の内訳

| 区分           | 決算額       |
|--------------|-----------|
| 雨水処理経費に係る分   | 2,930万円   |
| 水質規制事務経費に係る分 | 263万円     |
| 不明水処理経費に係る分  | 2,507万円   |
| 高資本費対策経費に係る分 | 700万円     |
| 分流式下水道経費に係る分 | 1億7,579万円 |
| 企業債利子償還に係る分  | 434万円     |
| 企業債元金償還に係る分  | 4,010万円   |
| 繰入金合計        | 2億8,423万円 |

町営牧場は、町の基幹産業である酪農畜産経営の生産コスト低減と労働力軽減などを目的として昭和38年に設置されました。昭和43年には農業構造改善事業で開陽台牧場、昭和56年には国営事業で俵橋牧場を開設し、主に人工授精牛の夏季における預託放牧を行なっています。

放牧日数は153日。受入頭数は延べ12万3,140頭で、1日平均804頭が入牧しました。

平成27年度から道営公共牧場整備事業で開陽台牧場の再整備を実施し、令和3年度で草地及び衛生管理施設等、一定の整備を終了しましたが、引き続き公共牧場としての役割を十分に発揮させ、預託農家の要望に応えるためには、更なる運営方法の工夫・検討が必要であると考えております。

今年度も口蹄疫など海外悪性伝染病の侵入防止対策、家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、北海道根室家畜保健衛生所等の指導の下に予防検査を実施し、適切な牧野衛生と事故のない牧場運営に努めます。

#### 令和6年度決算額

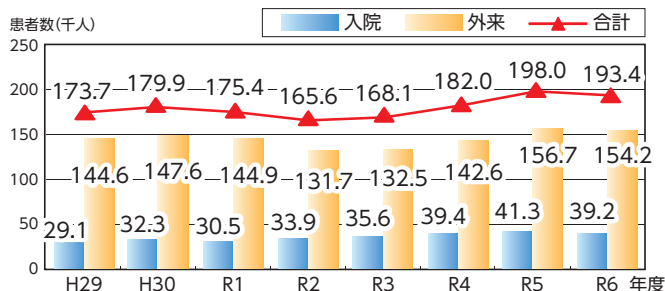
| 歳入      | 歳出      |
|---------|---------|
| 放牧料     | 管理費     |
| 入牧手数料   | 事業費     |
| 財産収入    | 公債費     |
| 繰入金     | 災害復旧費   |
| 諸収入     |         |
| 町債      |         |
| 合計      | 合計      |
| 6,922万円 | 6,922万円 |

#### 【主な歳出の内訳】

- ◆管理費……消費税、牧場運営委員会などに係る諸経費
- ◆事業費……草地の管理経費など
- ◆公債費……借入金の元金および利子の償還金
- ◆災害復旧費……大雨による牧場内通路の砂利洗掘、U字溝復旧に係る経費

令和6年度の病院事業は医師の退職により前年度より3名少ない19名（うち会計年度任用職員2名）によるスタートとなりましたが、関係医療機関の協力により、前年度に引き続き15科での診療体制を維持することができました。しかしながら、新型コロナウイルス関連の補助金が終了したことに伴い、その他の収益が大きく減少し、令和2年度以来の純損失を計上しました。

### 年度別患者数の推移



◆ 本年度の延患者数は入院39,183人、外来154,174人となり、前年度比で入院2,158人（5.2%）の減、外来2,510人（1.6%）の減となりました。居住地別の患者割合は、中標津町が69.3%、管内3町の合計が26.6%と、地域センター病院として根室管内の医療を支えています。

### 収益的収支の状況（1年間の経営活動に伴い発生する収支）

|        | 科 目     | 決 算 額      | 対前年度比伸率 |
|--------|---------|------------|---------|
| 病院事業収益 | 入院収益    | 19億2,070万円 | 5.5%    |
|        | 外来収益    | 15億2,279万円 | △1.6%   |
|        | その他医業収益 | 1億8,109万円  | 5.4%    |
|        | 一般会計繰入金 | 9億1,270万円  | △6.8%   |
|        | その他の収益  | 1億3,551万円  | △53.3%  |
|        | 収益合計    | 46億7,279万円 | △2.8%   |
| 病院事業費用 | 給与費     | 24億402万円   | 3.1%    |
|        | 材料費     | 8億3,528万円  | 6.9%    |
|        | 経費      | 11億1,957万円 | 4.5%    |
|        | 減価償却費   | 3億4,603万円  | 60.3%   |
|        | 支払利息    | 2,922万円    | △17.1%  |
|        | その他費用※  | 2億9,696万円  | 1.5%    |
|        | 費用合計    | 50億3,107万円 | 6.4%    |
|        | 収益的収支差引 | △3億5,828万円 |         |

※その他費用の増額は、主に消費税計理における雑損失分の増額。

◆ 診療収入では、入院収益が増加しており、入院・外来を合わせた診療収入合計は、前年度比で7,554万円（2.2%）の増収となりました。令和2年度から継続して取り組んでいる経営改革の成果によって、診療収入の増加が図られています。

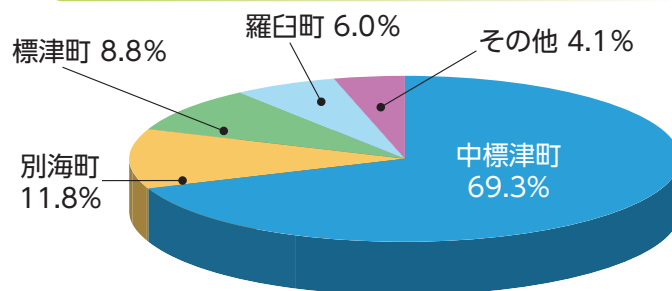
しかし、新型コロナウイルス感染症対策への補助金などが減少し、収益合計では、一般会計からの繰入を含め46億7,279万円（前年度比1億3,663万円、2.8%の減）となりました。

◆ 費用では、委託料、手数料をはじめとして物価高騰の影響を受けており、材料費及び経費で対前年度比で1億255万円（5.5%）増加し、費用合計では、50億3,107万円（前年度比3億261万円、6.4%の増）となりました。

### 一般会計からの繰入金の内訳

| 区 分               | 決 算 額     |
|-------------------|-----------|
| 救急医療確保経費に係る分      | 2億7,210万円 |
| 保健衛生行政経費に係る分      | 1,532万円   |
| 企業債利息償還に係る分       | 1,922万円   |
| リハビリテーション医療経費に係る分 | 2,458万円   |
| 小児医療経費に係る分        | 6,289万円   |
| 周産期医療経費に係る分       | 2,195万円   |
| 研究研修経費に係る分        | 758万円     |
| 医師確保対策経費に係る分      | 3億8,672万円 |
| 共済組合、基礎年金負担に係る分   | 1,316万円   |
| 児童手当に係る分          | 697万円     |
| 院内保育所経費に係る分       | 1,399万円   |
| 医療の確保に係る分         | 6,823万円   |
| 建設改良、企業債元金償還に係る分  | 2億8,809万円 |
| 繰入金合計             | 12億80万円   |

### 居住地別患者割合（R6年度、入院外来合計）



### 資本的収支の状況（資産取得に伴い発生する収支）

|    | 科 目     | 決 算 額      | 対前年度比伸率 |
|----|---------|------------|---------|
| 収入 | 企業債     | 3億3,310万円  | △43.5%  |
|    | 一般会計繰入金 | 2億8,809万円  | 30.8%   |
|    | 補助金     | 5,648万円    | 56.8%   |
|    | 収入合計    | 6億7,767万円  | △19.9%  |
| 支出 | 建設改良費   | 3億9,115万円  | △42.8%  |
|    | 企業債償還金  | 4億9,961万円  | 36.7%   |
|    | 支出合計    | 8億9,075万円  | △15.1%  |
|    | 資本的収支差引 | △2億1,308万円 |         |

※建設改良費予算のうち2億1,512万円は翌年度に繰り越され、令和6年度に未発行の許可済企業債が財源として充当されます。

#### 令和6年の主な建設改良費

受変電設備更新整備工事（2億3,689万円）  
 冷凍機更新工事（7,260万円）  
 母体胎児監視システム更新（2,896万円）  
 超音波診断装置（862万円）

### ◆病院事業に対する一般会計からの繰入金とその財源

病院の運営経費のうち、法令等に基づいて一般会計が負担すべきとされている経費については、地方交付税という形で町に交付されています。

### 繰入金の財源内訳

